

## 5. 熊本大学医学部改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況① (H27. 12. 1現在)	改善状況② (H28. 12. 1現在)
教育	(法人評価までに改善する計画) (医学科) 関係委員会等において教育改善の検討及び、医学教育FDワークショップでの関連テーマによる実施を継続して行う。 (保健学科) 年度初めの在学生ガイダンスにおいて、教育目的・教育方針を説明すると共に、保健学科Webページにカリキュラムポリシー及びディプロマポリシーを掲載し、学生の自己学習を促進する。	(医学科) 平成27年8月に、「診療参加型臨床実習のデザイン」をテーマとして、医学教育FDワークショップを実施した。更に、ワークショップでの成果を踏まえて、カリキュラム企画・評価委員会において、臨床実習の期間延長及び、国際認証に沿った診療科選択の仕組み作り及び医行為の範囲策定について検討を行っている。 (保健学科) 4月の在学生ガイダンスにおける保健学科の教育目的・教育方針の説明、並びに保健学科Webページへのカリキュラムポリシー及びディプロマポリシーの掲載により、継続的学習の重要性を認識させ、自己学習を促した。	(医学科) 平成28年10月に、「診療参加型実習」をテーマとして、医学教育FDワークショップを実施した。この成果を踏まえて、カリキュラム企画・評価委員会において具体的な臨床実習スケジュール作成を行っている。 (保健学科) 改善済み
	(2年間で改善する計画) (医学科) 医学教育の国際認証及び質保証に関するFD及び講演会を実施し、教員の意識向上を図る。 (保健学科) 保健学系FD委員会・セミナーで学生の自己学習を促す方策を検討する。	(医学科) 平成27年12月には、国際認証を受審した大学より講師を招き、教職員を対象に講演会を開催した。 (保健学科) 9月開催のFDセミナーで、平成26年度授業改善のためのアンケート結果を基に分析を行った。	(医学科) 平成28年6月に、医学教育の質保証に鑑み、advanced OSCEを実施している大学より講師を招き、Post CC OSCE(臨床実習後OSCE)に関する講演会を開催した。 (保健学科) 平成27年度授業改善のためのアンケート結果を分析し、教育目的・教育方針は明確に示されていた。学生の自己学習の現状について専攻内で分析し、自己学習を促す工夫について検討している。
	(次の組織評価までに改善する計画) (医学科) 医学教育の国際認証に向けた準備委員会等を立ち上げ、具体的な作業に着手し、平成29年度～平成30年度での受審を目指す。 (保健学科) 保健学系FD委員会・セミナーで検討した改善策を実施する。	(医学科) 教育教務委員会、カリキュラム委員会でカリキュラムの変更、申請プロセスを検討中であるが、他の大学の受審状況及び受審結果に関する情報を収集・分析を行っており、今後、準備委員会等の組織作りの検討を行っていく予定である。 (保健学科) 9月開催のFDセミナーで、平成26年度授業改善のためのアンケート結果を基に分析を行った。	(医学科) 平成31年度に日本医学教育評価機構(JACME)による、医学教育認証の審査を受審することが決定された。臨床医学教育研究センター教員により素案を作成中であり、今年度末には準備委員会を設置する予定である。 (保健学科) 平成27年度授業改善のためのアンケート結果を分析し、教育目的・教育方針は明確に示されていた。学生の自己学習の現状について専攻内で分析し、自己学習を促す工夫について検討している。
社会貢献	(法人評価までに改善する計画) (医学科) 社会貢献活動の充実について、関係委員会の方策を検討する。 (保健学科) 保健学系教員及び保健学科学生の社会貢献活動に関する情報収集方法及び学内外への情報発信方法(Webページへの掲載等)の体制を整備する。	(医学科) 教育・教務委員会から授業担当教員に対して授業開放科目への積極的な参加を呼びかけ、今年度前後期においても、授業開放科目を開設した。 また、社会貢献活動の一環として、学生によるハンセン病療養所の訪問を計画し、平成27年12月実施した。 (保健学科) 保健学科(教員・学生)の社会貢献活動を保健学科Webページに掲載し広報することとし、広報・紀要委員会で情報を収集する体制を整備した。なお、情報収集方法等については、引き続き検討していくこととした。	(医学科) 教育・教務委員会から授業担当教員に対して授業開放科目への積極的な参加を呼びかけているところである。 また、社会貢献活動の一環として、今年度も学生によるハンセン病療養所の訪問を計画し、平成28年12月22日に訪問する予定である。 (保健学科) 前年度に広報・紀要委員会において情報を収集する体制を整備し、各専攻の広報委員を通して、随時、情報収集等に努めた。
	(2年間で改善する計画) (医学科) 本学が実施する授業開放や高大連携事業に積極的に参加すると共に、学生による地域社会活動等の推進を図る。 (保健学科) 保健学系教員及び保健学科学生の社会貢献活動をWebページ等により広く情報発信する。	(医学科) 本学が実施する高校生のための熊大ワクワク連続講義、熊大の先輩タイ(隊)へ、教員及び医学科学生が参加した。また、ワクワク研究室訪問として、高校生を受け入れている。 (保健学科) 保健学科(教員・学生)の社会貢献活動を保健学科Webページに掲載し広報することとし、広報・紀要委員会で情報を収集することとした。	(医学科) 本学が実施する高校生のための熊大ワクワク連続講義を担当し、ワクワク研究室訪問にて4件の高校生を受け入れている。 (保健学科) Webページのデザイン変更や掲載内容を刷新するとともに、教員・学生の社会貢献活動を随時Webページに掲載可能とし、広く情報発信に努めた。
	(次の組織評価までに改善する計画) (医学科) 地域社会における実習を充実させると共に、関係機関からのニーズを把握し、社会貢献の充実を図る。 また、学生による地域社会活動等の実態を把握し、学内外へのアピールをWebサイト等を利用して行う。 (保健学科) 情報収集・発信等システムを検証し、改善を図る。	(医学科) 地域社会における実習を充実するために、新たに設けた早期臨床体験実習Ⅱ(地域医療実習)の実施に向けた準備を進めている。 また、学生が学外で行う地域社会活動等を把握するため、学生団体に対して活動報告を提出させており、今後はその活動状況を学内外へ発信する仕組みを検討していく予定である。 (保健学科) 保健学科(教員・学生)の社会貢献活動を保健学科Webページに掲載し広報することとし、広報・紀要委員会で情報を収集することとした。	(医学科) 地域社会における医療のあり方を学ぶため、早期臨床体験実習Ⅲ(地域学外実習)を実施する。12月5～9日に、3年次108名の学生を、熊本市内外の病院・診療所に1～数名配置し、実習を行う。11月には実習担当者向け説明会を行った。なお、実施後アンケートにより、意見・ニーズの集約を図る予定である。 (保健学科) Webページのデザイン変更や掲載内容を刷新するとともに、教員・学生の社会貢献活動を随時Webページに掲載可能とし、広く情報発信に努めた。
国際化	(法人評価までに改善する計画) (医学科) 現行の入学選抜方法の検証を行い、具体的な検討を開始する。	(医学科) アドミッションポリシーに沿った学生を広く求めると共に、適切な人材を選考するため、入学選抜方法等の検証を行い、入学者の成績取得状況や進級状況などを分析・検討し、入学選抜において適切に評価できるよう、推薦入試における面接試験の面接点の変更を行った。	(医学科) アドミッションポリシーに沿った学生を広く求めるとともに、適切な人材を選考するため、入学者の成績や進級状況などを分析・検討し、入学選抜方法等の検証を行う。推薦入試拡充が要請されているため、併せて検討を行う。
	(2年間で改善する計画) (医学科) 後期入試の廃止及び前期入試における面接試験の実施に係る各種データの収集及び分析を行い、入学選抜方法の改善に取り組む。	(医学科) 平成26年度前期入試への面接試験導入及び、平成28年度からの後期入試の廃止に伴い、変更前後の入試成績と入学後の学業成績の取得状況及び評点分などや、進級状況との相関データの蓄積を行った。 アドミッションポリシーに沿った学生の確保に繋がっているか検証し、必要に応じて入学選抜方法を改善していきたい。なお、平成28年度推薦入試においては、アドミッションポリシーに沿った学生を広く求めると共に、適切な人材を選考するため、面接試験の配点を変更した。	(医学科) 平成26年度前期入試への面接試験導入及び平成28年度からの後期入試の廃止に伴い、変更前後の入試成績と入学後の学業成績や進級状況との相関データの蓄積を引き続き行っているところである。推薦入試拡充の要請に対し、アドミッションポリシーに沿った学生の確保に繋がっているか検証し、必要に応じて入学選抜方法を改善していきたい。
	(次の組織評価までに改善する計画) (医学科) 面接試験導入後の入学について、成績等の追跡調査を基に、入学選抜方法等の検証及び評価を行い、アドミッションポリシーに沿った入学選抜を確立する。また、学生の国際的視野を涵養するため、海外への派遣や海外からの留学生受け入れプログラムの充実を図る。	(医学科) 入学試験成績及び入学後の成績の相関等を分析し、国際的視野を持った学生の受け入れに繋がるような入学選抜方法及びアドミッション・ポリシーを検証する予定である。 また、昨年度から開始したUCLA夏季研修セミナーへも今年度も7名の学生が参加しており、引き続き派遣プログラムを充実していく。なお、海外からの留学生受け入れについては、今年度既に2名を受け入れ、更に1名の受け入れ予定がある。なお、次年度においても4名の受け入れ準備を進めており、実績を積みながら受け入れプログラムの充実を図っていく。	(医学科) 入学試験成績及び入学後の成績の相関等を分析し、国際的視野を持った学生の受け入れに繋がるような入学選抜方法及びアドミッション・ポリシーを検証する予定である。 また、海外の学生交流協定校への派遣プログラムが1件増えた。なお、海外からの留学生受け入れについては、今年度は震災により4名の受入が中止となったが、3月に1名受け入れる予定である。なお、次年度においても受け入れ準備を進めており、実績を積みながら受け入れプログラムの充実を図っていく。